

組合組織統一化で 組合員増強を図る

佐賀県電気工業業組合理事長 古賀 正信



新年あけましておめでとう
ございます。
皆様方には健やかに新年を
お迎えのこととお慶び申し上
げます。
平素より当組合の事業運営

新年あけましておめでとう
ございます。
皆様方には健やかに新年を
お迎えのこととお慶び申し上
げます。
平素より当組合の事業運営

この統一化は、組合組織の大
幅な変革を伴うもので、各地
区の協同組合並びに電設組合
の組織を解散して完全支部制
に移行するものであります。
組織統一化の目的として、
業務の効率化や費用等の統一
化はもちろん、組合未加入者
も、これまで各協同組合等で
組合費や出資金、加入金がバ
ラバラであったものが統一さ
れたことにより加入がしやす
くなり、組合員増強を一層図
ることが出来ることも組織
強化発展に大きく寄与するも
のであります。

その成果もあり、本年度も
数名の新規組合加入を見込め
ることができ、これからの組
合組織拡大につながっていく
大きな第一歩を踏み出したも
のであると感じます。
まだまだ問題点や課題等修
正する点が多々ありますが、
都度理事会等で話し合い、組
合員のことを第一に考えなが
らより良い組織に発展させて
いきたいと考えております。
一方上部団体であります全
日電工連主催の全国大会が、
東日本大震災後の復旧・復興
を目指している福島市で昨年
開催され、全国から約160
0名の組合関係者が集い、
『持続可能な社会』をつくる
強く頼もしい電気工事業
への挑戦』をテーマとして、
今後の電気工事業の進むべき
指針が確認されました。また、
大会での優良事業表彰式では
当組合エントリーの「安全大
会の開催」が優良賞を受賞す

るなど、組合にとっても記憶
に残る大会となりました。
その全国大会における意見
交換会でも人材確保が課題に
上る中、昨年4年振りに開催
できました技能競技大会で
は、佐賀県では初めて女性電
工の参加もあり、人手不足の
中女性電工の存在は今後ま
す期待が膨らむものと思わ
れます。同じく若手入職者減
少への対策として、県立産業
技術学院電気システム科1年
生による組合員事業所へのイ
ンターシッピング受入れや、昨
年に続き、県内工業高校電気
科へ青年部による電気工事業
の出前授業等を実施しまし
た。特に出前授業では業界の
実態や魅力を伝えることがで
き、後日のアンケートにも、

電気工事業のイメージが良い
意味で『変わった』が95%。仕
事の業種がたぐさんある、
「電柱の工事だけと思った」、
「楽しそうだった」などと
高く、また、就職等について
も『興味をもった』が70%。や
りがいを感じた、色んな
業種で多種多様な職種だっ
た、資格をたくさん取っ
たら仕事の幅が広がること、
業界PRに大いに繋げること
が出来たものと考えます。
最後になりますが今後も関
係各位のご助言、ご指導をお
願い申し上げますとともに、
皆様様方の益々のご健勝とご
発展を心から祈念いたし、よ
りよい未来へ希望に燃え、飛
躍の年になりますことを願
い、新年の御挨拶いたします。

働き方改革推進で 業界の発展を目指す

佐賀県電業協会会長 脇山 良昭



新年あけましておめでとう
ございます。謹んで新春のお
慶びを申し上げます。

昨年を振り返りますと、新
型コロナウイルスの感染症法
上の位置付けが5類となり、
ようやく通常の生活及び経済
活動が再開されました。佐賀
市でも県内最大規模のエンタ
ーテインメントアリーナである
SAGAサンライズパークが
グラนด์オープンいたし、バ
スケットボールやコンサート
など大型イベント等が多数開

催されるなど、今後ますます
県内経済の活性化が期待され
るところです。
さて、全国組織である日本
電設工業協会では、令和5年
度事業計画において、働き方
改革、技術・技能の継承、適
正で合理的な発注・工事環境
の確保、分離発注の一層の推
進を実現すること、一夢と
生きがいのある電設業界」を
目指すこととしています。
そのような中、4年振りに
通常規模での会員大会が大阪
で開催され、「2024年4
月に迫った『時間外労働の上
限規制適用』への的確な取り
組みを！」をメインテーマと
する大会決議が採択されまし

た。その実現のための方策と
して、①業務の合理化・効率
化・生産性向上により就労時
間を削減しよう！②「4週8
閉所」の実現に向け努力しよ
う！③電設工事業の将来を見
据え、希望に満ちた業務環境
を創ろう！の3つのアプロ
チが掲げられ、当県も今後そ
の目標に向かって事業活動を
展開していく所存です。
令和5年度の当協会事業活
動においては、事業計画にも
掲げております重点事業とし
て、自治体への陳情活動を県
内20市町に対し実施いたしま
した。本年度は分離発注及び
地元業者活用のお願いの他
に、電設協本部並びに九州支

部でも関係各所に広く要請し
ている、適切な工期設定と働
き方改革の推進等について
も、自治体に対して要請いた
し、業界としての重点要望を
直接関係者に伝えることが出
来ました。
また、会員の技術・技能向
上の講習会事業としても、技
術研修会その他に働き方に関
するセミナーを開催し、202
4年4月からの適用に向けた
対応の準備を会員向けに発信
することが出来ました。その
他、地域への社会貢献活動と
して、県の施設である「波戸
岬少年自然の家」において、
施設内の高所天井照明及び屋
外灯等の清掃活動を行いまし

た。当日は会員事業所から高
所作業車をお持ちいただき、
普段清掃することが出来ない
高所の照明や屋外灯を清掃で
きたことで、施設からも大変
喜んでいただきました。今後
も、当協会では地域に貢献で
きる業界、働き方改革推進に
よる業界の一層の発展を目指
して各種活動をしていきたい
と考えております。
これからも、関係各位より
ご支援ご協力を賜りますよう
心よりお願い申し上げます。
また、2024年が、明るい
年でありますよう、皆様方の
益々のご発展、ご健勝を祈念
いたしまして新年のご挨拶と
いたします。

